

<キウフルーツ> 果実肥大促進

1. フルメット液剤による幼果の浸漬処理は、薬剤が均一に付着するように丁寧に行う。処理濃度が高い場合や処理時期が早い場合には過剰肥大し、果頂部の突出や果梗部の亀裂などが発生するので、適正な使用をする。散布処理では、果頂部の薬液だまりが奇形の一因となるので、散布後に柵の針金等をゆすり、適量の薬液をふるい落とす。調整した薬液は、効果低下の恐れがあるため、調整当日に使いきる。

2. ただし、レインボーレッドにおいては果形が乱れる原因となるため、使用しない。

商品名	RACコード	時期	回数	使用方法
フルメット液剤		開花後20～30日	1回	果実浸漬又は果実散布